

児童の調査項目（調査項目：5領域20項目）

記入日	ふりがな	年齢	記入者氏名（続柄）
/	児童氏名	歳 月	()

※分かる範囲でご記入ください。判断に迷う項目は未記入で構いません。未記入の項目については、別途市職員から確認させていただきます。

※できたりできなかったりする場合は「できない状況」に基づいて判断してください。

項 目	判断項目			
（１）食事 設問：食事をする際に大人の手伝いが必要ですか。	☐ 一人で食べることができる	☐ 見守りや声かけがあれば食べることができる	☐ 一部支援が必要である	☐ 常に支援が必要である
※該当行為があればチェック、頻度の記入をしてください ☐ 異食行動 ☐ 過食 ☐ 反すう 頻度【 ☐ 月 回 / ☐ 週 回】 【 ☐ 月 回 / ☐ 週 回】 【 ☐ 月 回 / ☐ 週 回】				
（２）排せつ 設問：一人でトイレに行き排せつができますか。	☐ 一人でトイレに移動して排せつすることができる	☐ 見守りや声かけがあればトイレに移動して排せつすることができる	☐ 一部支援が必要である	☐ 常に支援が必要である
（３）入浴 設問：入浴の際には大人の支援が必要ですか。	☐ 一人で入浴することができる	☐ 見守りや声かけがあれば入浴することができる	☐ 一部支援が必要である	☐ 常に支援が必要である
（４）運動の基本的技能(移動) 設問：一人で歩いて移動ができますか。	☐ 一人で歩くことができる	☐ 一人で歩くことはできるが近くでの見守りが必要である	☐ 一人で歩くことができるが、手をつなぐなどのサポートや杖・保護帽などの補助具が必要	☐ 一人で歩くことが難しい
（５）運動の基本技能(目と足の協応) 設問：階段昇降・ジャンプ・ケンケンができますか。	☐ ケンケンが3回以上できる	☐ 交互に足を出して階段を昇り・降りできる	☐ 両足同時にジャンプし、転倒せずに着地できる	☐ 階段は同じ足を先に出して昇る ☐ どの動きも難しい
（６）危険回避行動 設問：危険なことがわかり、気を付けることができますか。	☐ 自発的に危険を回避することができる	☐ 声かけ等があれば 危機を回避することができる	☐ 危険を回避するためには、支援者の介入が必要である	/
（７）見通し(急な変化対応) 設問：急な予定変更があった場合、対応することができますか。	☐ 急な予定変更でも問題ない	☐ 声かけがあれば対応できる	☐ 視覚的な手掛かりがあれば対応できる	☐ その他の工夫やサポートが必要
（８）見通し(予測理解) 設問：見通しを立てて、行動することができますか。	☐ 見通しを立てて行動 することができる	☐ 声かけがあれば見通しを立てて行動することができる	☐ 視覚的な情報があれば行動することができる	☐ その他の工夫が必要
（９）遊びや活動（トラブル頻度） 設問：同年代の子どもと一緒に過ごす中で、トラブルが起こることがあります。	☐ ほとんどないか、あっても自分たちで解決できる	☐ トラブルがあっても、大人の支援があれば解決できる	☐ 支援があっても、解決できる場面とできない場面がある	☐ トラブルが頻繁に起き、解決することも難しい
（１０）その他 設問：突然、自分や相手に対して乱暴な言動をとるときがありますか。	☐ 乱暴な言動はほとんどみられない	☐ 乱暴な言動がみられるが、対処方法がある	☐ 乱暴な言動がみられ、対処方法も特にない	/
※該当行為があればチェック、頻度の記入をしてください ☐ 大声・奇声 ☐ 自らを傷つける行為 ☐ 他人を傷つける行為 頻度【 ☐ 月 回 / ☐ 週 回】 【 ☐ 月 回 / ☐ 週 回】 【 ☐ 月 回 / ☐ 週 回】				
（１１）2項関係(人対人) 設問：楽しいときなどに、目を合わせることができますか。	☐ 目が合い、微笑むことや、嬉しそうな表情をみせる	☐ 訴えている（要求する）時は目が合う	☐ あまり目が合わない/合っても持続しない	☐ ほとんど目が合わない
（１２）表出(意思の表出) 設問：どんな方法で意思を伝えますか。	☐ 言葉を使って伝えることができる	☐ 身振りで伝えることができる	☐ 泣いたり怒ったりして伝える	☐ 意思表示が難しい ☐ コミュニケーションツールを使って伝える。
（１３）人との関わり(他者への関心興味) 設問：親、友達、支援者やとり取りすることや、相手からの働きかけに反応することができますか。	☐ 自分から働きかけたり、相手からの働きかけに反応する	☐ ごく限られた人であれば反応する	☐ 自分から働きかけることはほとんどないが、相手からの働きかけには反応することもある	☐ 過剰に反応する、または全く反応しない
（１４）注意力 設問：話を聞く場面や物事に取り組む際に、気が散りやすく集中できないことがありますか。	☐ 集中して取り組むことができる	☐ 部分的に集中して取り組むことができる	☐ 集中して取り組むことが難しい	/
（１５）集団への参加(集団参加状況) 設問：集団活動に参加することができますか。	☐ 指示やルールを理解して最初から最後まで参加できる	☐ 興味がある内容であれば部分的に参加できる	☐ 支援があればその場にはいられる	☐ 参加することが難しい
（１６）読み書き 設問：読み書きについて支援が必要です。	☐ 支援が不要	☐ 支援が必要な場合がある	☐ 常に支援が必要	/

※裏面にも調査項目がありますのでご記入をお願いします。

項 目	判断項目			
(17) 衣類の着脱 設問：着替えるときに手伝いが必要ですか。	☐ 一人で衣類の着脱ができる	☐ 見守りや声かけがあれば衣類の着脱ができる	☐ 一部支援が必要である	☐ 常に支援が必要である
(18) 感覚器官(聞こえ) 設問：物の音や人の声が聞こえていますか。	☐ 特に問題がなく聞こえる	☐ 補聴器などの補助装具があれば聞こえる	☐ 聞き取りにくい音がある/過敏等で補助装具が必要である	☐ 音や声を聞き取ることが難しい
(19) 感覚器官(口腔機能) 設問：食べ物をよく嚥んで飲み込むことができますか。	☐ 嚥んで飲み込むことができる	☐ 柔らかい食べ物を押しつぶして食べることができる	☐ 介助があれば口を開き、口を閉じて飲み込むことができる	☐ 哺乳瓶などを使用している口から食べることが難しい
(20) 姿勢の保持(座る) 設問：一人で座り、手を使って遊ぶことができますか。	☐ 一人で座り、手を使って遊ぶことができる	☐ 手で支えて座ることができる	☐ 身体の一部を支えると座ることができる	☐ 座るために全身を支える必要がある

以下、放課後等デイサービス、日中一時、移動支援を利用する児童のみ対象（就学時サポート調査項目）

項 目	判断項目			
(21) 説明の理解 設問：大人や友達などからの説明を、どれくらい理解していますか。	☐ 支援が不要 （説明に伴った行動がとれる）	☐ 支援が必要な場合がある （説明に伴わない行動をとることが多い）	☐ 常に支援が必要 （理解ができていないか判断ができない）	
(22) 多動・行動停止 設問：思うとおりにならないと落ち着きがなくなったり、興味があるものの前から動かなくなることがありますか。	☐ 支援が不要	☐ 支援が必要な場合がある （時々あるいは部分的に支援例：月1回程度以上）	☐ 常に支援が必要 （通常または習慣化している） 【 ☐ 週1回程度 ☐ 週5回以上 】	
(23) 不安定な行動 設問：予定が急に変更することを受け入れることや、自分のこだわりからスムーズに行動が取れなくなることがありますか。	☐ 支援が不要	☐ 支援が必要な場合がある （時々あるいは部分的に支援例：月1回程度以上）	☐ 常に支援が必要 （通常または習慣化している） 【 ☐ 週1回程度 ☐ 週5回以上 】	
(24) 不適切な行為 設問：見知らぬ人やに対して過度なスキンシップを行ったり、嘘をつく、ものを盗むなどの行動がありますか。	☐ 支援が不要	☐ 支援が必要な場合がある （時々あるいは部分的に支援例：月1回程度以上）	☐ 常に支援が必要 （通常または習慣化している） 【 ☐ 週1回程度 ☐ 週5回以上 】	
(25) 突発的な行為 設問：興味関心が優先し、突然走り出したり、危険な場所へ飛び出すなどの行動がありますか。	☐ 支援が不要	☐ 支援が必要な場合がある （時々あるいは部分的に支援例：月1回程度以上）	☐ 常に支援が必要 （通常または習慣化している） 【 ☐ 週1回程度 ☐ 週5回以上 】	
(26) てんかん	☐ 支援が不要 （てんかんの診断無し）	☐ 支援が必要な場合がある （服薬対応まではしていないが経過観察している）	☐ 常に支援が必要 （薬で発作を予防している）	
(27) そううつ状態 設問：前後の脈略なく感情が極端に変化することや、気分安定剤等の服薬がありますか。	☐ 支援が不要	☐ 支援が必要な場合がある （時々あるいは部分的に支援例：月1回程度以上）	☐ 常に支援が必要 （通常または習慣化している） 【 ☐ 週1回程度 ☐ 週5回以上 】	
(28) 反復的行動 設問：物や人、行為などにこだわり、特定の行動を反復することがありますか。	☐ 支援が不要	☐ 支援が必要な場合がある （時々あるいは部分的に支援例：月1回程度以上）	☐ 常に支援が必要 （通常または習慣化している） 【 ☐ 週1回程度 ☐ 週5回以上 】	

以下、中学生、高校生のみ対象

項 目	判断項目			
(29) コミュニケーション （言葉遣い） 設問：場面に合わせた言葉遣いと態度をとることができますか。	☐ 適切な言葉遣いや態度で表現することができる	☐ 時折、適切な言葉遣いや態度で表現することができる	☐ ほとんど適切な言葉遣いや態度で表現することが難しい	☐ 適切な言葉遣いや態度で表現することが難しい
(30) コミュニケーション （やり取り） 設問：自分のことを伝えるだけでなく、相手の話を聞くことができますか。	☐ やり取りをすることができる	☐ 配慮があればやり取りができる／やり取りをしようとする	☐ やり取りをすることが難しい	
(31) コミュニケーション （集団適応力） 設問：集団のルールや、相手の感情を理解し活動に参加できますか。	☐ 参加することができる	☐ たま参加することができる	☐ ほとんど参加することがない	

※備考（サービスを使いだして変化があった点など）

市職員記入欄	調査員氏名		行動援護スコア 点	区分
--------	-------	--	----------------	----